

学生教育とモータースポーツ — ラリー(泥の教室) —

放送大学 公開講演会 平成25年10月26日 高山市図書館

主催：放送大学 岐阜学習センター 共催：高山市、高山自動車短期大学

高山自動車短期大学 世界ラリー企画室 坂井 歩

泥の教室

立松和平氏（故人作家）の言葉

初参戦の1996年にコ・ドライバーとして帯同

進行

講演（約75分） + 質疑

ラリー参戦車両の紹介（約20分） + 質疑

講演概要

- ① モータースポーツ教育の背景
- ② モータースポーツ概説
- ③ ラリーについて
- ④ 講義、トレーニング、参戦準備
- ⑤ 参戦レポート
- ⑥ まとめ（学生の成長）

大学紹介



高山自動車短期大学2013

TAKAYAMA COLLEGE OF CAR TECHNOLOGY

①モータースポーツ教育の背景

1. 自動車整備士養成大学
2. 実践教育を重視する教育理念
3. 実習と座学および選択科目のバランス
4. 学生が自ら学びたいと思う講義を提供

②モータースポーツ概説

1. 競技種別

レース、ラリー、スピード行事、その他

2. 統括団体（4輪）

国際自動車連盟：FIA、日本自動車連盟：JAF

3. 競技格式とライセンス

国際と国内、エントラント、ドライバー、オフィシャル

4. 抗議

有料、裁判

③ラリーについて・・・1/2

1. 競技進行

- a. スペシャルステージ（競技区間、SS）
- b. ロードセクション（移動区間、リエゾン）
- c. サービス（整備）
- d. リフューエル（給油）
- e. タイムコントロール（通過時刻チェック）

③ラリーについて・・・2/2

2. ペナルティ（時間加算）
3. パルクフェルメ（車両保管所）
4. アイテナリー（行程表）
5. 公式車検（競技前後）
6. レコネッサンス（事前下見走行）

アイテナリーの例

13RH_Supp-Regu_J_0706.pdf - Adobe Reader

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

17 / 23 400%

ツール 署名 注釈

Overnight regroup

Re-Start Leg 1 **Saturday 28 September 2013**

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
1B	Parc Ferme OUT - Service IN		0.00	0.00	0:00	5:00
	Service A - Kita Aikoku	2.46	4.53	6.99	0:20	
1C	Service - OUT					5:20
RZ	Refuel - Kamitoshibetsu					
2	Distance to next refuel	29.11	26.04	55.15		
2	Ashoro		93.23	93.23	1:45	7:05
SS2	NEW ASHORO LONG 1	29.11				7:08
RZ	Refuel - Kamitoshibetsu					
3	Distance to next refuel	28.12	64.24	92.36		
3	Yam Wakka		42.00	71.11	1:20	8:28
SS3	YAM WAKKA 1	23.49				8:31
4	Rikubetsu		14.39	37.88	0:40	9:11
SS4	RIKUBETSU LONG 1	4.63				9:14
4A	Regroup and Technical Zone IN		0.24	4.87	0:11	9:25
4B	Regroup and Technical Zone OUT - Service IN					
	Flexi - Service B (Rikubetsu)	57.23	149.86	207.09	0:20	
4C	Service OUT - Regroup IN					
4D	Regroup OUT					10:15

Section 2

④講義、トレーニング、参戦準備・・・1/3

1. 1年後期「基礎ラリー」
モータースポーツ解説と基礎的な実技
2. 2年前期「実践ラリー」
競技を想定した実技、課外トレーニング
3. 2年後期「世界ラリー実習」
参戦準備、テスト走行、実戦参加

④講義、トレーニング、参戦準備・・・2/3

1. トレーニングの積み重ね
講義、放課後の実技とミーティング、チーム力
2. 安全の確保、後にスピードアップ
不整地での4輪ジャッキアップ、制限時間、優先順位付け
3. 夜間および狭小地での作業
照明と配線配管の取り回し、工具と部品の適切配置
4. 設営・撤収・撤収
素早く無駄のない設営と撤収

④講義、トレーニング、参戦準備・・・3/3

1. サービス・デモンストレーション
見られる緊張への対応、成功による自信
2. シェイクダウン・テスト
レーシングスピード、熱、泥、音の非日常を経験
3. 本戦シミュレーション
本戦スケジュール合宿、本番車と競技用油脂類を使用
4. 車両とパーツおよび機材の最終準備
もれのない確保と無駄のない保管・運搬

⑤参戦レポート・・・1/12

火曜：ワークショップ設営、到着車両の点検整備

水曜：支給品（カーナンバー・GPS等）取付

レッキ・サービスの準備、ラリー車最終チェック

木曜：レッキ1日目、公式車検、レッキ車整備

金曜：レッキ2日目、シェイクダウン、ラリー車整備

スタートセレモニー、レグ1セクション1・スタート

土曜：レグ1セクション2・スタート

日曜：レグ2スタート、ゴール・フィニッシュ

月曜：全撤収

⑤参戦レポート…2/12

公式車検



⑤参戦レポート…3/12

レッキサービス



⑤参戦レポート・・・4/12

サービスパークでの設営



⑤参戦レポート…5/12



シェイクダウン



⑤参戦レポート・・・6/12

セレモニアルスタート



⑤参戦レポート・・・7/12

翌朝、初のサービス（20分）



⑤参戦レポート・・・8/12

移動してのリモート・サービス



⑤参戦レポート・・・9/12

夜間サービス（45分）



⑤参戦レポート…10/12

2日目の深刻なトラブル



⑤参戦レポート…1 1 / 1 2

歓喜のゴールランプ



⑤参戦レポート…12/12

ねぎらいの言葉



⑥まとめ・・・1/3

1. 教育内容

- a. ディスカッション
- b. チームワーク、チーム力
- c. 事前準備、優先順位、考えること
- d. 自動車整備士の重責
- e. チャレンジ精神
- f. 努力、継続
- g. 感謝、一期一会

⑥まとめ・・・2/3

2. 参戦後の学生レポートにて

- a. 完走という目標を達成できて良かった
- b. チームワークの大切さ、チーム作りの大変さが分かった
- c. 途中でくじけそうになったが、最後まで諦めずに頑張った良かった
- d. 社会人（整備士）になっても、経験を仕事に生かしたい
- e. 卒業後も後輩に伝えたい、相談に乗りたい
- f. 多くの人々の協力があって成り立っていることが分かった
- g. 家族・OB・教職員・友人に感謝したい

⑥まとめ・・・3/3

3. 総括（学生教育とモータースポーツ）

- a. 学生が打ち込める環境と機会の提供
- b. チームワークとハードワークによる人間形成
- c. 高いレベル、社会人と共通の舞台を用意
- d. ミスとトラブルの経験そして克服、自信
- e. 達成感、充実感、悔しさが継続への糧